

やすらぎの じぞうもじをあなたに

2016年カレンダー完成

庭の紅葉も、うつすらと紅を感じさせる季節になって参りました。いかがお過ごしでしょうか。

2016年じぞうもじカレンダーが完成しました。昨年は早めにお知らせをしましたので、完売後、年末に忘れていた方の駆け込み注文でお届け出来ない方もいらしたため、今回は十月

にお知らせをすることになりました。カレンダーの案内が来なくて心配のご連絡をいただきました方には大変お待たせをいたしました。2016年は、テーマを「祈り」といたしました。一年を通して皆さまが幸せを願い、毎月カレンダーをめくっていただけたらと思っております。



2016年じぞうもじカレンダー

2016年10月1日発行
発行所 夕深
〒981-1107
仙台市太白区
袋原郵便局留

書家 夕深
じぞうもじ 作家



じぞうもじ

No. 8
2015年10月1日発行
発行所 夕深
981-1107
仙台市太白区
袋原郵便局留
問い合わせ先
090-6221-6611

じぞうもじって何ですか？
誰かに師事してもらったんですか？
どうして「じぞうもじ」を考えたんですか？
イベントで出逢う人々に、よく尋ねられます。私は小さい頃から書道を習っており、小学生のときは漫画家になりたいという夢がちよつとあったほどで学生の時には勉強そっちのけで美術が大好きでした。それが融合したように出来たのが「じぞうもじ」なのです。文字には意味がありますが、その表情は筆が走る線の勢いや流れでしか表すことができません。書道を極めようとレベルが上がれば上がるほど、現代では読めないものを書くようになり、私の中で筆を持つ魅力が半減していききました。どんなにきれいに美しく力強く書いて

も人の心に意味も文字も伝わらなければ、と思いましたが。そして、子供でも大人でもわかるように伝わるように書きたいと思ったことから、文字の中にお地藏様を描くようになりました。やさしい漢字はよりやさしく、力強い漢字はより心強くしつかりと優しさを保ちながら・・・私の気持ちを、お地藏様は代弁してくれるようになりました。書道といえは、最近パフォーミングなものも多く見受けられ若い人にもなじみが出てきました。地味なイメージがありました。そんな中で、「じぞうもじ」は、一人歩

きをしていると思うほどに多くの人の心に浸透してくるようでした。産まれたばかりの赤ちゃんの名前から長寿祝いまで、筆で書く喜びを感じることは言うまでも無く、思いを伝えることに大いに発揮してくれる「じぞうもじ」は主役であり、私は、それを引き立てる影役者です。

東尋坊からの依頼

ある日、携帯に「東尋坊の茂です。」とお電話がありました。自殺予防週間に街頭啓発活動で元氣の出る標語シールを無料配布するのですが、その標語をお地藏様を入れて書いて欲しいという内容で、NPO法人の会員や自殺企図者として保護した方々から「元氣の出る標語」を募集しその中から選出された十点をシールにしたいという意向でした。東尋坊(福井県)の茂幸雄さんは、警察署勤務時代に東尋坊で自殺防止のパトロールを始め、定年退職後も続けてこられました。2004年に警察OBや元教諭GYNPO法人「心に響く文集・編集局」を立ち上げ、自殺志願者の相談所を東尋坊内の空き家に開設。これまでに500人を超える自殺志願者を保護してきました。茂さんのその活動を7年ほど前にテレビでたまたま見たときに、自殺しようとしている命を (裏面に続く)

なんとか助けたいと一生懸命
命されている活動を応援し
たい気持ちになりました。

そんなことから茂さんと小
さな交流が始まったのです。
やすらぎのじぞうもじ新聞
の感想のお電話をいただい
たり、その一言がとても嬉
しいものです。私は東尋坊
へ行ってパトロールをする
ことは出来ないけれど、何
かの力になれば、と思う
気持ちで今回このようなカ
タチで実現出来たことは、
私自身大きな喜びです。
左記の「坂」は、シールに
なった標語の一つです。茂
さんの活動をこれからも応
援します。

生活

読んで字のごとく、「生活」
は日々の生活のことを言い
ますが、文字を分解すると
活かして生きる、と書いて
います。それは、何をする
ということではなく、魂を
活かして生きる、という意
味のように思います。五感
があることで、いろいろな
感情が生まれてきますが、
生きる中心にあるものは、
五感に左右されない自分ら
しさを発見して生きること
なのかもしれません。生活
を五感に頼れば、比べたり
出来ないことを不自由に思

魂を活かして生きる



自作で日めくり

い、生きる幅が狭まります
が、自分の素晴らしさを発
見することは、生きる幅が
広がることでもあります。
同じモノを与えられて、不
平不満に思う人もいれば、
大きな感謝を感じる人もい
ます。それは、心の物差し
が人それぞれ違うというこ
とであり、また、それは難
しいけれど、心次第で自由
に誰でも変えられることで
もありません。自己選択と自
由意志、それは、転機とし
て受け止めるか、偶然とし
て流すか、その連続が今を
作っていきます。どんな選
択であっても、どちらの間
違いは有りません。

毎年、じぞうもじカレンダー
をお求めいただいている方
から、「三年分をやつと日め
くりカレンダーになります。」
そんなお話を聞きました。
「これまでのカレンダーを
はがすたびに、下の部分を
切り取り、じぞうもじだけ
をとっておき、上の方をパ
ンチで穴をあけてリングを
通すと毎日めくって見れる
んです。」全部捨てずに取っ
ておいてくれていること、
さらにいろいろなアイデア
を教えてください。いつも
もじファンには、いつも
感謝でいっぱいです。

今後の予定

★秋保木の家・手しごと館
(仙台市太白区秋保町湯元
字馬乙二)にて毎月最終
日曜日に書き下ろしをして
います。十時半から一五時
まで。

★十月は2回の書き下ろし
予定です。

日程・十二日と二十五日
時間・十一時～三時まで

じぞうもじカレンダー

カレンダー一部一〇〇〇円
発送の際、荷造り送料がか
かります。カレンダー希望
部数代金と合わせてお振り
込みください。

- 1部 450円
- 2～3部 500円
- 4～6部 610円
- 7～9部 760円
- 10部以上は、ゆうパッ
ク(地域によって変動)

郵便払込口座

02240-2-117824

口座名義・じぞうもじ工房
お問い合わせはこちらまで
jizoumoji@j.email.ne.jp
.....090-6221-6611

